

ハーモニ



(第26号)

発行：下田市役所企画財政課 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会
電話:22-2212 FAX:22-3910 メール:kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

男女共同参画推進の視点からの公共施設見学及び合同検討会開催



「合同検討会」の様子

平成24年2月1日(水)、男女懇話会と「下田市公共施設利用促進協議会」(※)が合同で、公共施設の見学及び検討会を開催しました。目的は、男女共同参画の視点から公共施設のあり方を探り、より有効に施設を利用していくための意見交換会として実施されたものです。

※下田市公共施設利用促進協議会とは
公共施設の運営方法や利用推進について、調査、審議する市の付属機関です。

どんな公共施設を見学したのか

○「下田保育所」、「子育て支援センター」、「市立図書館」、「下田市民文化会館」の4施設を見学し、施設の運営状況や利用状況などについて、それぞれの施設担当者から説明を受け、質疑応答を行いました。

どんなことを話し合ったのか

○施設見学のあと、合同検討会を開催し、それぞれの公共施設をより有効的に利用していく方策や問題点などの、様々な意見が出されました。

○各施設での質疑応答など



下田保育所:担当者説明の様子

1)「下田保育所」での主な質疑応答を紹介します。

Q：下田保育所の津波対策は？

避難マニュアルは整えられていますか？

A：津波に対して安全対策が万全ではないと認識しています。国、県の津波被害想定が発表されるので、それに基づき対策を講じます。

Q：男性保育士の採用はありませんか？

A：職員募集の際に女性限定とはしておりません。現行施設では更衣室等、男性保育士の受け入れに不安があるのは事実ですが、新たな施設ではそのような問題はありません。

2)「子育て支援センター」での主な質疑応答を紹介します。

Q：施設運営にあたって、困っていることはありますか？

A：保護者同士での会話に夢中になってしまう傾向がみられます。親子で一緒に語らいながら、楽しい時間を過ごしてほしいと思っています。この施設は単なる託児所としての利用ではなく、子育ての悩み相談、親子交流の場などの設置目的であることをご理解いただき、利用していただければと思います。

Q：一日の時間帯で利用者が集中するとき、スタッフの手当はできますか？

A：多忙の場合は、市役所職員が対応しています。



子育て支援センター：担当者説明の様子



市民文化会館：担当者説明の様子

3)「下田市民文化会館」での主な質疑応答を紹介します。

Q：施設の更新や補修は計画的に実施されていますか？

A：毎年修繕リストを作成し、市の担当課と協議しております。屋根の雨漏り修繕など大規模な修繕については、既に実施済みです。

Q：和室はありますか？

A：畳敷きの楽屋はありますが、和室の会議室はありません。

Q：大ホールに母子室が設置されていると聞きました。どのようなスペースですか？

A：子どもをあやしめながら子ども向け映画を親子で鑑賞できます。

○「合同検討会」で発表された意見の一部を紹介します。



合同検討会の様子

男女懇話会会員

意見1) 子育てをしているお母さん、子どもが小さいお母さんはコンサートや講演会を聴きたいと思っても文化会館では子どもを預かる場所がない。一時預かりができるスペースを設けるなど施設運営に配慮していただくとありがたい。

意見2) 今後、男性保育士を育てる、生かすという観点から、こども園のあり方を話しあっていくことも重要だと思う。

意見3) 地域活動の拠点となる施設（公民館等）が少なくなっている中で、子育てをしている人が集いやすい地域の公共施設等のあり方について検討したい。

公共施設利用促進協議会委員

意見1) もっと早くこのような意見交換の機会をもつべきだった。違った分野からの意見を聞くことが大事。

意見2) 子育ては女性という意識エリアから、行政も市民感覚も脱しきれていない。また、行政組織内の管理職の女性登用を積極的に行うべき。

意見3) 公の施設の利用者ニーズが多様化している。施設の現状を変えるのは大変だが、ソフト面の利用形態の見直しやルール設定などで対応できるのではないか。

県内市町の審議会等における女性登用状況調査結果が発表されました

平成 24 年 1 月時点での県内市町の審議会等における女性登用状況の調査結果が、静岡県から以下の通り示されました（下田市以外については、女性比率が高い市町を掲載しました）。

	平成 23 年度			平成 18 年度			比較 増減
	総委員数	うち女性	女性比率	総委員数	うち女性	女性比率	
下 田 市	369	55	14.9%	343	48	14.0%	0.9%
静 岡 市	994	302	30.4%	1,233	292	23.7%	6.7%
三 島 市	540	171	31.7%	498	178	35.7%	△4.1%
伊豆の国市	263	75	28.5%	287	72	25.1%	3.4%
函 南 町	175	54	30.9%	262	58	22.1%	8.7%



下田市では、平成 12 年に審議会等の付属機関を設置する際には「男女共同参画社会基本法の趣旨を踏まえ、女性委員の割合を 30%以上になるよう努めるものとする」という指針を定めております。

平成 18 年度との比較では、0.9%増と若干改善されておりますが、平成 24 年 1 月時点で 14.9%にとどまっているのが現状です。

静岡県男女共同参画課では、女性登用の比率増加には、「女性人材リストの作成及び活用」「審議会事務局への働きかけ」が有効であると分析しています。

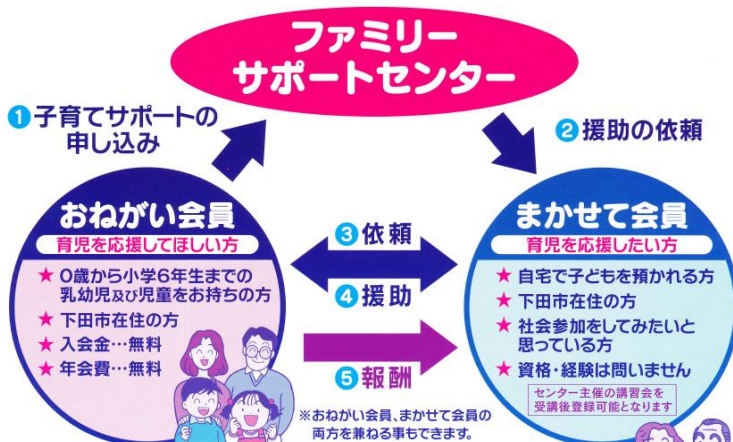
しかし、組織や団体の長への就任には男性を優先させる慣習が根深く残っている傾向がみられます。男女それぞれの意識改革を図りながら、市町、企業、団体等に対して、広く女性の参画を求める必要があると思います。

人間関係の希薄化、単身世帯の増加等による家族構成の変化、急速な高齢化と過疎化等、様々な変化が地域で生じていますが、こうした中で、地域活動における役割を男女が共に担い、女性ならではの力が様々な場面で活かされていくことが、今必要とされているのではないのでしょうか。

ファミリーサポートセンターがオープンしました！

○ ファミリーサポートセンターとは？

ファミリーサポートセンターは、子育て中の方が安心して働き、安心して育児ができるように、あらかじめ登録した市民同士が援助活動をするためのネットワークです。



活動のシステム

- 1 おねがい会員がセンターへ援助を申し込む。
- 2 センターはまかせて会員の中から会員を紹介する。
- 3 おねがい会員とまかせて会員の事前打ち合わせ。(援助の内容・時間・方法など)
- 4 話し合い成立後、まかせて会員による育児援助。
- 5 子育てサポートの終了後に報酬(利用料金)の授受。

※会員は入会と同時に「会員傷害保険」「賠償責任保険」「子ども傷害保険」に加入(個人負担なし)しますので安心です。

登録方法 下田市ファミリーサポートセンターまでお越しください。

必要なもの

- ・写真 2 枚 おねがい会員…保護者の写真
まかせて会員…ご本人の写真

・印鑑

- ・保険証 (おねがい会員のみ)

利用料金 (1 時間)

基本時間:月～金曜の午前7時～午後7時

600 円

土・日・祝日の基本時間外

700 円

問合せ先

下田市ファミリーサポートセンター

〒415-0024

下田市四丁目 6-16 (学校教育課内)

TEL・FAX 0558-27-2332

E-MAIL kyouiku@city.shimoda.shizuoka.jp

開設時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

ファミリーサポートセンター開所式に想う

下田市では、今年度から子育て中の方が安心して働き、育児ができるように「ファミリーサポートセンター」事業を開始しました。開所式に出席された、しもだ子育て応援隊ぼっぼ代表伊澤英子さんにコメントをいただきましたので、紹介します。

「市の主催するパソコン講座に参加したいけど、子どもが小さくて…」

「急に残業が入って、保育園へのお迎えに間に合わなくなりそうになった時、「ああ、仕事を続けるのは無理かな…」と何度も思いました。」

こんな子育て中のお母さんの声を聞くたびに、何か地域でサポートできないものかなあ～と思っていたのは私だけではなかったのでしょうか。

こんな思いが少しずつ広がり、繋がり、高まって、4月5日に「下田市ファミリーサポートセンター」の開所式が行われました。



ファミリーサポートセンターは、子育て中の方が安心して働き、育児ができるように、あらかじめ登録した市民同士が援助活動をするためのネットワークです。活動する市民が“お願い会員”“まかせて会員”として登録し、援助をお願いしたい人には、センターが援助する人を紹介するという仕組みです。

私も、長いこと働きながら子育てをしてきた体験から、子育て中の方に少しでも支援することができたらと願って、この開所式に「まかせて会員」の登録者の1人として出席しました。

**当日、いただいた「ファミリーサポートセンター会員活動の手引き」の表紙には、
【助け合い！ 育て合い！ みんなでつなごう笑顔と地域！】**

と、記されていました。

下田市教育長様の「おもいやり、助け合い、相互扶助の心を大切に」というお話の後に、「お願い会員」に「まかせて会員」を紹介するコーディネーターの4人の担当の方が紹介された時、「ああ、これで少しでも子育て中の方の悩みや苦勞が解決されていくことになるのだろうな。」と、心から思いました。

子育て支援は、次の世代を担う人づくり、地域づくりに繋がるはずで、「まかせて会員」38人の皆さんと互いに協力し合って、これからひとつひとつ結びつきを大切に、無理せず活動していきたいと思います。

事務局が置かれる市教育委員会、まかせて会員の養成を担う社会福祉協議会の皆さんの力強い支援体制も嬉しく、またひとつ「子育ては地域育て」の灯りがともったな、と強く感じました。

編集後記

下田市にファミリーサポートセンターという新たな子育て支援事業が開始されました。男女共同参画の視点から見て、女性が社会で活動するための「環境づくり」のひとつとして、子育てに対する支援は欠かせないものです。

今回掲載させていただいた公共施設見学及び合同検討会や静岡県が示した審査会等における女性登用調査結果からもわかることですが、男女が共に活躍するためには、社会における「環境づくり」というものが、非常に大切であると改めて認識しました。

※男女共同参画情報紙「ハーモニー」への御意見、御感想を募集しております。

下田市役所企画財政課企画調整業務担当まで御連絡ください。

電話:0558-22-2212 FAX:0558-22-3910 E-mail:kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp